

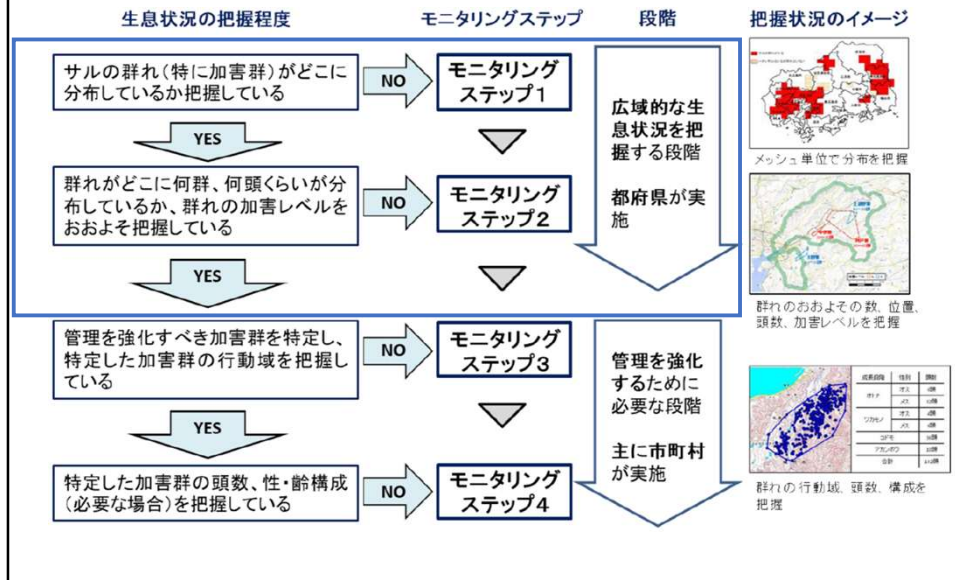
岡山県サル生息状況調査 2020年度結果



目的

ニホンザル第二種特定鳥獣管理計画
改定に向け、現状の岡山県サル生息状
況を把握すること

サル出没カレンダー調査実施状況

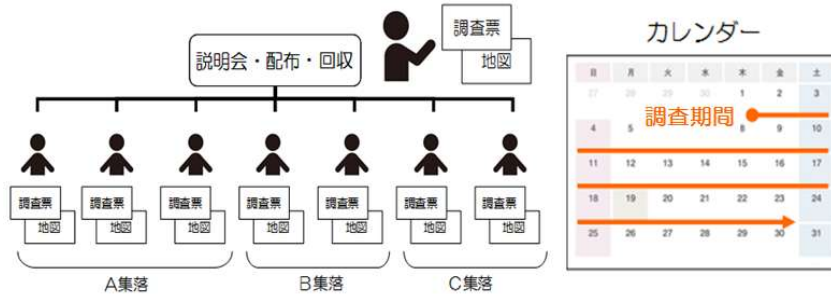


サル出没カレンダー調査実施状況



サル出没カレンダー調査

一定期間、一斉にサルの出没を記録する日誌調査



令和7年10月20日～11月20日まで実施

サル出没カレンダー調査実施状況

岡山県事業

サル生息状況等調査



岡山県農林水産部

【調査手順】

- ① 右欄のアンケート（5問）を回答ください。
- ② 10月20日～11月20日にサルがいたら、次ページ以降の記録票と地図の両方にご記入ください。

※この期間、岡山県内の市町村で一斉に本調査を実施し、サルの生息状況を明らかにします。

記入上の注意

1. サルを1日に複数回見たら、行を分けてご記入ください。
2. 調査期間中にサルがいなくても、表紙のみ記入して提出ください。

調査期間終了後

12月1日（月）までに

返信用封筒に入れて、ポストに投函してください。

ご協力よろしくお願いたします。

本調査で収集した情報を基に、被害対策の推進及び実態把握に役立てていきます。

（該当するものに☑を入れてください）

お名前をご記入ください

Q1. 普段サルが集団で出てくる頻度はどのくらいですか？

- あまり来ない 季節的 月に1回 週に1回以上

Q2. いつも集落に来るサルは、何頭くらいの集団ですか？

頭くらい

※集団が複数来ている場合は、集団ごとにご回答ください

Q3. 自宅付近で人を見たサルの行動はどれですか？

- 人の姿を見たらすぐ逃げる 人が近づいたら逃げる
火花を鳴らしたら逃げる 追い払っても逃げない

Q4. 集落のサルの被害はどの程度ですか？

- 被害はない 一部被害がある
大きな被害がある 甚大な被害がある

Q5. サルの被害について自由に書いてください

【問い合わせ先（委託元）】

岡山県 農林水産部 鳥獣害対策室
 担当：秋山（アキヤマ）
 電話：086-226-7439

【問い合わせ先（事業者）】

（株）野生動物保護管理事務所
 担当：岩田（イワタ）
 電話：0848-37-1593

サル出没カレンダー調査実施状況

【記入例】

サル出没カレンダー調査票

サルの群れを見たり、声を聞いたら書いてください。

No.	サルを見たり、声を聞いた日時		サル確認場所 (地名や大字名)	サルの 確認方法	実際に何頭 見ましたか	気配で何頭 いると感じ ますか	子ザルを群 中に集めたり、 腹に抱いた 母ザルはい ましたか	サルはどんな 行動をしていま したか	人への反応は どうでしたか	農業被害は ありましたか	被害内容
	月日	時刻									
①	11月 3日	14時～15時	久喜	☑ 声聞いた 人から聞いた	5 頭	15 頭	はい	はい	1・2・3・4・5	はい	畑を壊された 被害あり
②	11月 11日	9時～10時	長沢/久喜付近	☑ 声聞いた 人から聞いた	10 頭	10 頭	はい	はい	1・2・3・4・5	はい	サツマイモ
③	11月 11日	19時	〇〇神社裏の林内	☑ 声聞いた 人から聞いた	— 頭	15 頭	はい	はい	1・2・3・4・5	はい	畑を壊された 被害あり
④	11月 20日	10時	久喜	☑ 声聞いた 人から聞いた	15 頭	30 頭	はい	はい	1・2・3・4・5	はい	ダイコン 畑を壊された
⑤	11月 23日	12時～13時	馬上の集会所	☑ 声聞いた 人から聞いた	— 頭	20 頭	はい	はい	1・2・3・4・5	はい	畑を壊された

できるだけ正確にご記入下さい

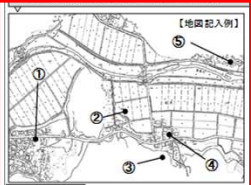
あてはまるものに
○をつけてください

あてはまるものに
○をつけてください

あてはまるものに
○をつけてください

この番号をサル出没地点として地図に記録して下さい

※記号は地図上でサルを目撃した場所、
 ※地名等の読み間違いはご記入ください



実際に数えた頭数を
正確にご記入ください

全部で何頭くらいですか
ご記入ください

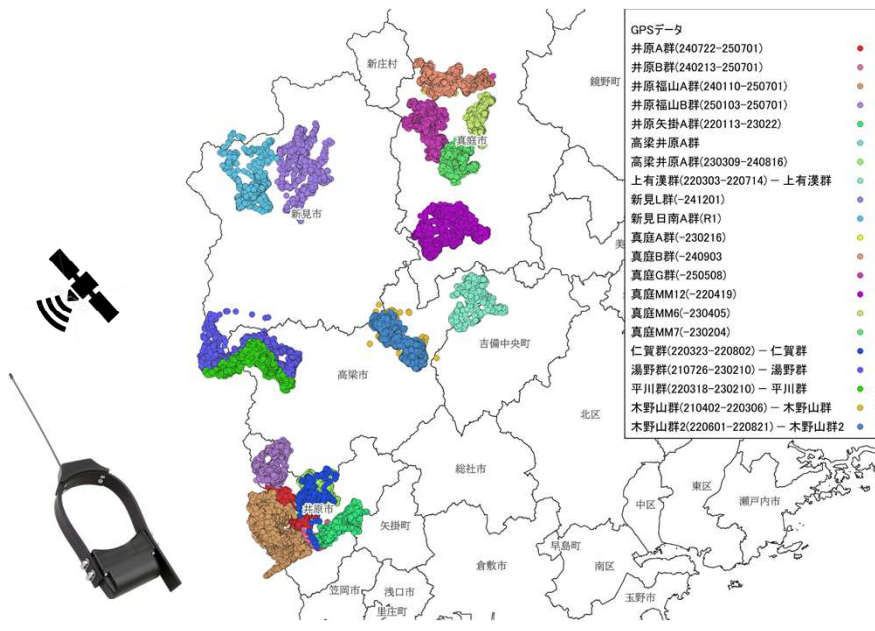
1. 遠くても人の姿を見ると逃げる
2. 遠くても人が近づくと逃げる
3. 20m内に近づけない
4. 20m内に近づける
5. 追い払っても逃げない、威嚇される

被害作物、生活被害、
人身被害など自由
にご記入下さい

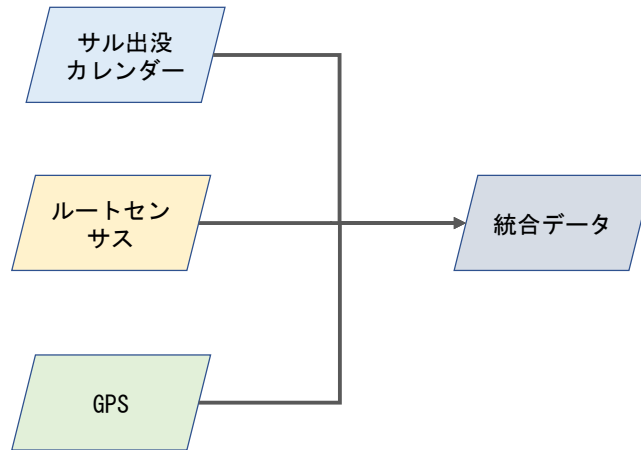
ルートセンサス調査実施状況



既存情報収集状況

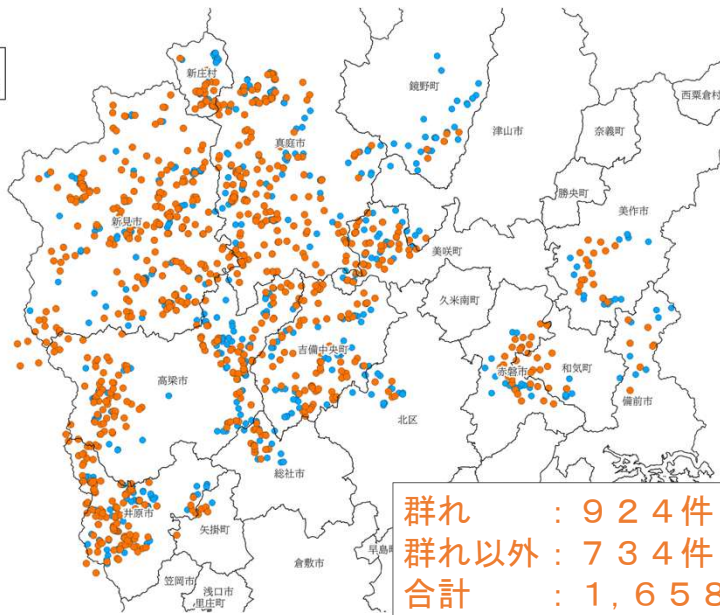


データの統合

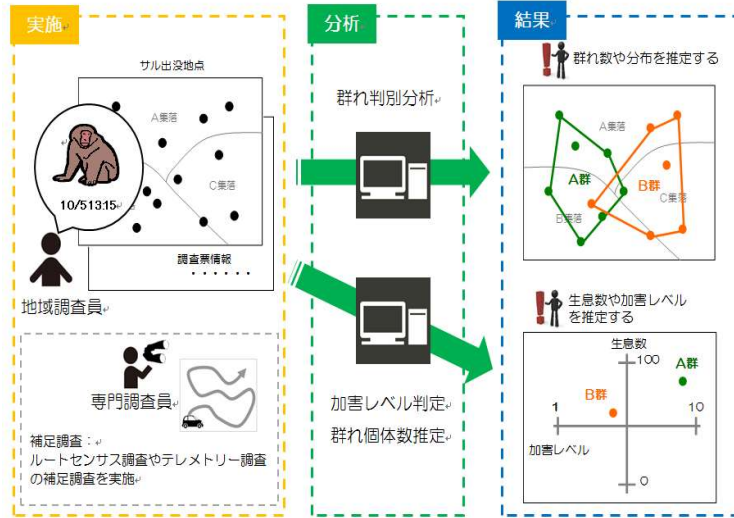


サル確認地点

- 群れデータ
- 群れ以外データ



データ分析



推定結果

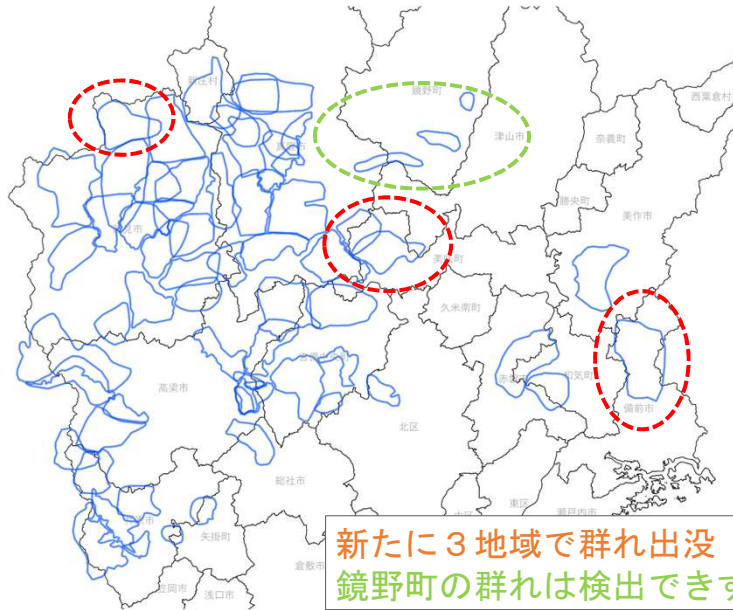
推定行動圏



推定群数：65群
推定頭数：2,513～3,048頭

推定結果

推定行動圏



新たに3地域で群れ出沒
鏡野町の群れは検出できず

加害レベル判定

ポイント	出沒頻度	平均的な出沒規模	人への反応	集落の農作物被害状況	生活被害
0	山奥にいるためみかけない	群れは山から出てこない	遠くにおいても、人の姿を見るだけで逃げる	被害集落は無い	被害なし
1	季節的にみかける時がある	2、3頭程度の出沒が多い または群れのごく一部が出沒	遠くにおいても、人が近づくと逃げる	軽微な被害を受けている集落がある	宅地周辺のみかける
2	通年、週に1回程度どこかの集落で見かける	10頭未満の出沒が多い または群れの一部が出沒	遠くにいる場合逃げないが、20m以内までは近づけない	大きな被害(生産量の10%程度)を受けている集落がある	庭先に来る、屋根に登る
3	通年、週に2、3回近くどこかの集落で見かける	10~20頭程度の出沒が多い または群れの半数程度が出沒	群れの中に、20mまで近づいても逃げないサルがいる	甚大な被害(生産量の30%以上、または被害の精神的苦痛が大きい、被害者が怒っている、耕作を諦める)を受けている集落がある	器物を損壊する 倉庫に侵入する
4	通年、ほぼ毎日どこかの集落で見かける	20頭以上の出沒が多い または群れの全体(あるいは大半)が出沒	10mまで近づいても逃げない、または威嚇するサルがいる	甚大な被害を受けている集落が3集落以上ある、または行動域内の過半数の集落に甚大な被害が発生している	住居侵入が常態化(繰り返し発生する)

それぞれの項目における判定は、現地調査(群れ探索行動特性調査(ルートセンサス)や直接観察など)、アンケート調査(被害状況調査など)、群れの監視員など被害対策の従事者からの情報、専門家によるチェックといった方法(複数の方法が望ましい)での総合的な評価に基づいて行う。

各指標のポイントを合計して加害レベルを判定する

加害レベル	合計ポイント
0	0
1	1-2
2	3-7
3	8-12
4	13-17
5	18-20

加害レベル0

サルの群れは山奥に生息しており、集落に出沒することがないので被害はない。

加害レベル1

サルの群れは集落にたまに出沒するが、ほとんど被害はない。

加害レベル2

サルの群れの出沒は季節的で農作物の被害はあるが、耕作地に群れ全体が出てくることはない。

加害レベル3

サルの群れは、季節的に群れの大半の個体が耕作地に出てきて、農作物に被害を出している。

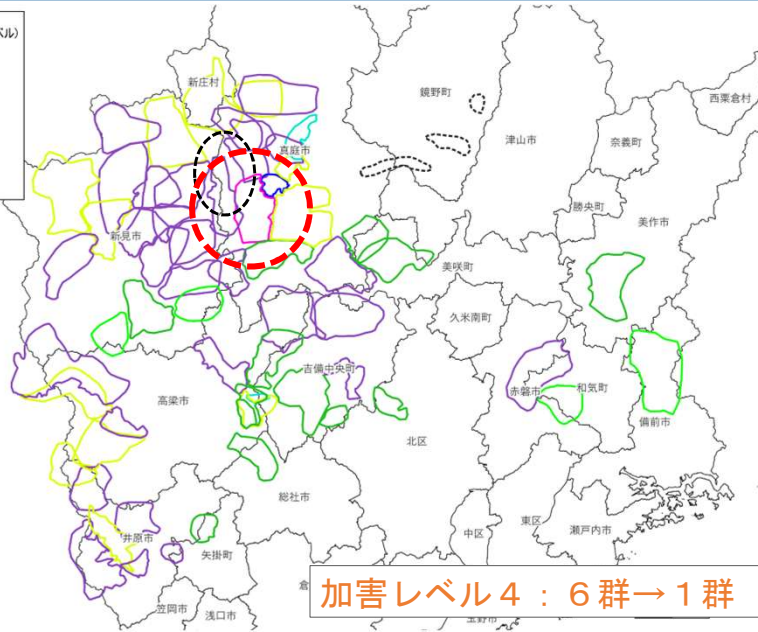
加害レベル4

サルの群れ全体が、通年・頻りに出沒している。生活環境被害がある。まれに生活環境被害がある。

加害レベル5

サルの群れ全体が、通年・頻りに出沒している。生活環境被害が大きく、人身被害の恐れがある。人馴れが進んでいるため被害防除対策の効果が少ない。

推定結果



加害レベル4 : 6群→1群

群れごとの推定頭数および加害レベル

群れ名	加害レベル		推定 個体数	備考
	第2期	第3期		
井原A	3~4	3~4	30~50	
井原B	3~4	3	30~40	
井原福山A	4	3~4	40~50	
井原福山B	3~4	3~4	50~60	
井原福山C	3~4	3	20~30	
井原矢掛A	3~4	3~4	10~20	
井原矢掛B	3	2~3	20~40	
岡山A	2	2~3	10~30	
吉備中央A	3	2~3	30~40	
吉備中央B	3	2~3	20~30	
吉備中央C	3	3~4	30~40	
吉備中央美咲A	3~4	3~4	30~40	
鏡野A	3	-	-	出沒情報なし
鏡野B	1	-	-	出沒情報なし
高梁A	3	3	20~30	
高梁B	3~4	3~4	40~50	
高梁C	3~4	3	50~60	
高梁D	3~4	3~4	60~70	
高梁E	3~4	3~4	60~70	
高梁F	3	3	25~30	餌付け群
高梁井原A	3~4	3~4	30~50	

群れ名	加害レベル		推定 個体数	備考
	第2期	第3期		
高梁吉備中央A-1		2~3	30~40	餌付け群
高梁吉備中央A-2	3	2~3	72	餌付け群
高梁吉備中央B	2	1~2	12	餌付け群
高梁吉備中央C	3~4	2~3	50~60	
高梁吉備中央D	3~4	3~4	30~40	
高梁新見A	3	2	30	
高梁総社A	3	2~3	20~30	
新見A	2~3	2	20	
新見B	3	2~3	30~40	
新見C	3~4	3~4	50	
新見D	3~4	3~4	50	
新見E	4	3~4	50	
新見F	4	3~4	70~80	
新見G	3~4	3~4	50~60	
新見H	3~4	3~4	60~70	
新見I	3~4	3~4	50~60	
新見J	3	3	30~40	
新見K	4	3~4	20~30	
新見L	3~4	3~4	120~140	
新見M	3~4	3	90~100	
新見N	-	3~4	50~60	新規
新見日南A	3~4	3	90~100	

群れ名	加害レベル		推定 個体数	備考
	第2期	第3期		
真庭A	3~4	3	70~80	
真庭B	3~4	3~4	40~50	
真庭C	3~4	3~4	40~50	
真庭D	3~4	1~2	10~20	
真庭E	3	3	20~30	
真庭F	4	1	10~20	
真庭G	4	3~4	44	
真庭H	2~3	4	30~40	
真庭I	3~4	2~3	20~30	
真庭J	3	3	30~40	
真庭K	3	3~4	160	餌付け群
真庭鏡野A	1~2	-	-	出沒情報なし
真庭新見A	3~4	3~4	40	
真庭新見B	3~4	3~4	50~60	
真庭新庄A	3~4	3	50~60	
真庭美咲A	2~3	3~4	40~60	
真庭美咲B	-	2~3	10~20	新規
美咲A	2~3	2~3	30~40	
赤磐和気A	3~4	3~4	50	
赤磐和気B	3~4	2	30	
美作A	2~3	2~3	30	
美作B	3	2	30	

計65群 2,513~3,048頭

加害レベル別群れ数

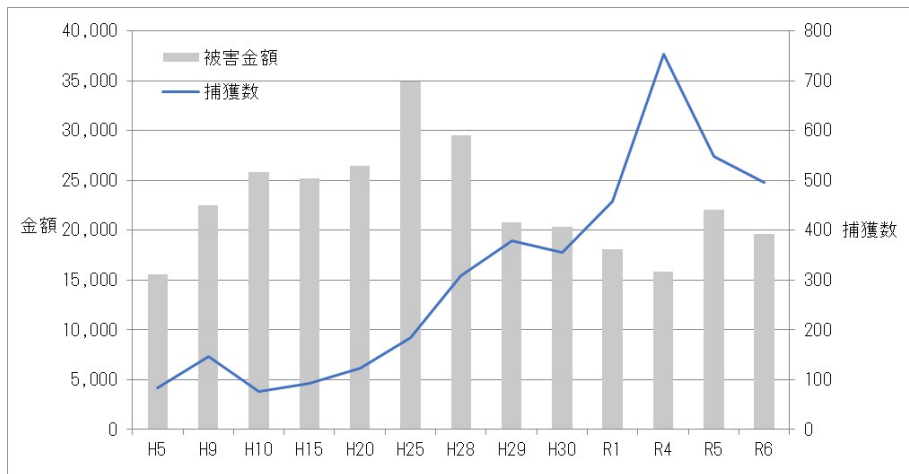
【第1期調査】				【第2期調査】				【第3期調査】			
加害レベル	推定群れ数	推定個体数 (最小)	推定個体数 (最大)	加害レベル	推定群れ数	推定個体数 (最小)	推定個体数 (最大)	加害レベル	推定群れ数	推定個体数 (最小)	推定個体数 (最大)
0~1	-	-	-	0~1	1	10	20	0~1	-	-	-
1	-	-	-	1	-	-	-	1	1	10	20
1~2	-	-	-	1~2	1	30	30	1~2	2	22	32
2	1	20	30	2	2	23	50	2	4	110	110
2~3	11	240	320	2~3	5	90	125	2~3	13	372	502
3	12	439	529	3	18	712	855	3	12	525	640
3~4	30	1,040	1,350	3~4	31	1,508	1,846	3~4	29	1,444	1,704
4	11	565	650	4	6	362	422	4	1	30	40
不明	1	0	0	不明	0	0	0	不明	3	0	0
計	66	2,304	2,879	計	64	2,735	3,348	計	65	2,513	3,048

加害レベルの高い群れの数は減少
⇒ 被害減少が期待される

分布拡大 ⇒ 被害拡大の恐れ

岡山県のサルによる被害金額と捕獲数の推移

計画的な捕獲と被害防除対策を



ご協力ありがとうございました

